

# 会社と労働組合は、労働者に直ちに謝罪すべきです

＝「特定政党支持」こそ、破廉恥行為の根源＝

## I・H・I出身の中尾市議・偽装結婚関与で逮捕

去る10月13日、神奈川県警は、I・H・I出身の中尾智一横浜市議（民主党）を、「交際する外国人女性の偽装結婚に関与した」として逮捕しました。愛人の中国人女性の就学ビザによる日本滞留期限が切れているため、日本人男性と結婚したことにし、引き続き日本に在留できるようにしようとしたようです。

## 「会費を返せ」など、組合員の怒りの声

この事実を知った、これまで中尾市議を当選させるために、後援会に入れられ、月々会費まで徴収されていた横浜工場の組合員からは、次のような怒りの声があがっています。

- ・選挙応援をやらせておいて、会社と組合は何も言わないのはおかしい。会社と労働組合は、こんな人間の選挙活動を俺たちに強いてきたことを謝罪すべきだ。
- ・愛人問題で逮捕されるなんてとんでもない。彼の応援のために集めていた後援会の会費を、過去に遡って返すべきだ。
- ・こんな破廉恥行為をしたのだから、ただちに議員は辞めるべきだ。俺たちにも明確に謝罪すべきだ。

・当然、組織内推薦の候補者から外すべきだ。労組が特定の候補者を推薦し、その選挙運動を組合員に押し付けていること自体が間違い、ただちにやめるべきだ。

14日に労働組合は、ニュースで「極めて残念」などという見解をあきらかにしましたが、「冷静な対応」を求めるだけで、組合員への謝罪の弁はありません。

## 会社と労働組合は労働者に直ちに謝罪を

労働組合の組織内候補者として推薦し応援した人が逮捕されたことへの、労働組合の責任を免れることはできません。しかも、この推薦、応援が、横浜市政をI・H・Iに有利なものにするという、会社の意向を踏まえた、事実上企業ぐるみのものであることは、問題の根の深さを示しており、会社の責任も免れることはできません。労資一体の応援で楽々当選できるようになり、日常の努力をしないですむようになったことからの思い上がりだが、今回の破廉恥行為の根源です。

## 「特定政党支持」の押しつけをやめよ

選挙などの党や候補者を支持するかは、主権者である国民一人ひとりの基本的権利であり、何人もこれを侵すことは許されません。労働組合と政党との関係は、労働者の要求実現のためにお互いに協力・共同をすることであり、特定の政党や候補者の支持を組合員に押しつけることは間違いです。

今回の中尾議員逮捕を契機に、労組の「一党支持」は直ちにやめるべきです。

2011年10月

日本共産党石川島委員会 造船支部